

第115期

# 中間報告書

平成22年4月1日～平成22年9月30日

昭和パックス株式会社

## 株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成22年9月30日をもって当社第115期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）の前半を終了いたしましたので、当上半期の業績についてご報告申し上げます。

平成22年12月



代表取締役社長 河野弘征

## 事業の概況

当第2四半期連結累計期間（平成22年4月1日～平成22年9月30日）における我が国経済は、新興国向けを中核とした輸出と各種政策による景気押し上げ効果に、猛暑による需要増や自動車の駆け込み購入などによる個人消費の上振れが加わり、全体では穏やかな景気回復が続きました。

しかし、企業部門では設備投資の回復ペースは緩慢であり、家計部門でも雇用・所得環境回復の遅れで消費マインド改善の動きは鈍く、内需の回復は限定的なものにとどまりました。第2四半期には、輸出の頭打ちと耐久消費財購入刺激策の効果一巡を背景に、鉦工業生産が連続して前月比減少となり、円高による輸出企業の業績悪化が懸念されるなど、景気の減速が懸念される状況が見られ始めました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、顧客である各業界の生産回復による当社グループ製品の需要持ち直しと、連結子会社に山陰製袋工業(株)、山陰パックス(有)の二社が加わったことにより、売上高は9,952百万円で前年同期に対して1,581百万円の増収となりました。損益は、売上の増加に、製造原価低減施策の効果、負ののれん償却が加わって、累計営業利益528百万円（前年同期比414百万円の増益）、経常利益576百万円（同450百万円の増益）、四半期純利益342百万円（同266百万円の増益）となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

### ○重包装袋

重包装袋セグメントの主力製品であるクラフト紙袋の当第2四半期連結累計期間の業界出荷数量（ゴミ袋を除く）は、前年同期比で2.5%の増加でした。リーマンショックの影響がまだ残っていた前年同期に比べると持ち直したものの、リーマンショック前の前々年同期の水準には戻っておりません。

当社の売上数量は前年同期比では+11.0%となりました。特に当社が大きなシェアを持つ合成樹脂及び化学品用途が大きく回復し、米麦用途等も数量を伸ばしましたが、砂糖・甘味、飼料用途等は減少しました。

子会社の九州紙工(株)も前年同期比+3.1%と数量を伸ばしました。今期首から連結に加わった山陰製袋工業(株)の当第2四半期累計（1～6月）売上数量は前年同期比+5.6%でした。海外子会社であるタイ昭和パックス(株)は好調を維持し、当第2四半期累計（1～6月）売上数量は前年同期比22.3%の大幅増加でした。タイ昭和パックス(株)は東アジア地域で増加する需要に対応するため工場拡張に着手しました。

当セグメントの第2四半期連結累計売上高は6,642百万円で、前年同期比1,094百万円の増収となりました。

### ○フィルム製品

当第2四半期連結累計期間のフィルム製品の業界全体の状況は、一時期若干の持ち直しが見られましたが、出荷数量は産業用、農業用とも前年同月比で微減傾向が継続しています。フィルム製品の原材料であるポリエチレン樹脂、ポリスチレン樹脂の価格は値上げ基調から軟化に転じましたが、農業フィルムの原材料となるEVA樹脂は太陽電池用途の需要増加で軟化の兆しは見えません。

当社の売上数量は、前年の落ち込みが大きかったため、前年同期比では+12.8%となりました。産業用フィルムが+14.7%で、特にシュリンクフィルム「エストタイト」、広幅ポリエチレンフィルムが数量を伸ばしました。農業用は+10.1%で、ハウス用途や牧草用途が前年同期を上回りました。

当セグメントの当第2四半期連結累計売上高は1,855百万円で、前年同期比255百万円の増収となりました。

## ○コンテナ

粒状内容物の大型輸送用ワンウェイ・フレコンの当第2四半期連結累計期間の業界の出荷量は、物流の復調を受けて前年同期を大きく上回りました。海外からの輸入も大幅に増加しました。

当社の自社製ワンウェイ・フレコン「エルコン」の売上数量は化学品、食品用途が伸び、輸入販売品も化学品用途が伸びて、いずれも前年同期を上回り、全体で前年同期比+7.9%でした。大型コンテナバッグ「バルコン」の売上数量も前年同期比+5.7%となりました。

当セグメントの当第2四半期連結累計売上高は775百万円で、前年同期比124百万円の増収となりました。

## ○不動産賃貸

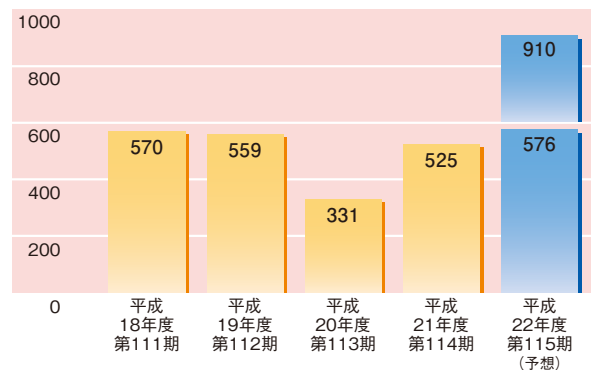
賃貸用不動産及び賃貸契約内容に大きな変動はなく、当セグメントの当第2四半期連結累計売上高は前年同期から横ばいの131百万円でした。

第3～4四半期における日本経済は、各種景気刺激策の打ち切りによる国内需要の落ち込みや、新興国や欧米の景気減速による輸出の減少などの下振れリスクがあり、第2四半期までのように緩やかな景気回復が続くとは予想しにくい状況になっております。

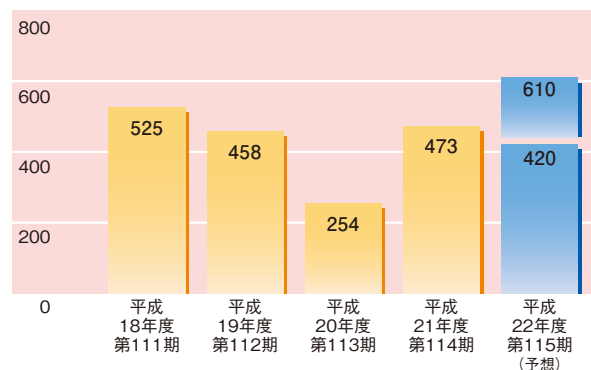
このような環境下、当社グループは物流用包装材を主力製品としているため景気変動の影響を受けやすく、第3～4四半期については楽観が許されません。引き続き生産の効率化とコスト削減を進めて企業体力の増強に努力するとともに、当社独自の「STS」（昭和トレーサビリティシステム）や、山陰製袋工業(株)との連携による製品ラインアップの拡充を活用した新たな取引先・商権の獲得を行って、業界内のシェアアップを図ります。また、米の非正規流通を防止する「エルパックス30」、液体用コンテナ内袋「エスタック」「エスキューブ」等の独自新規製品の販売本格化に注力、海外ではタイ昭和パックス(株)の生産能力増強等を行い、九州紙工(株)、(株)ネスコも含めて連結業績の向上に努めてまいります。

## 経常利益（単位：百万円）

### 連結



### 単体



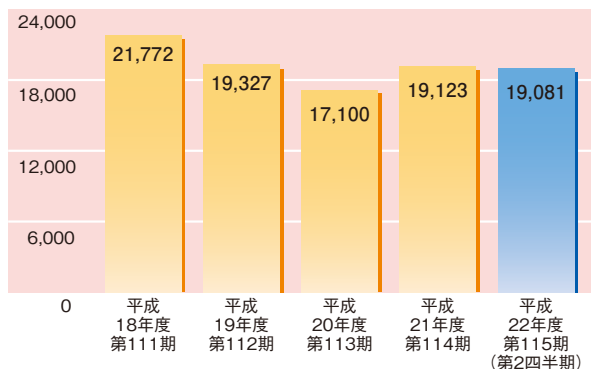
## 連結決算の概要

### 連結貸借対照表 (単位：千円)

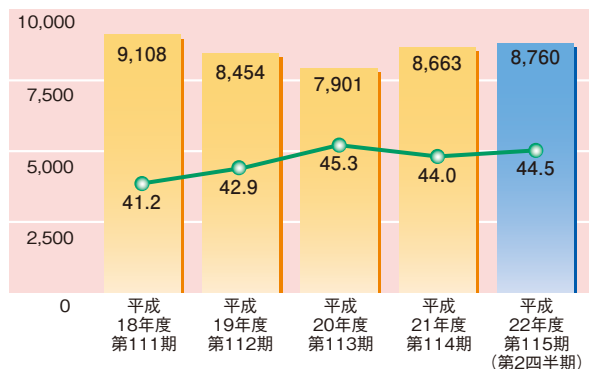
科 目	平成22年9月30日現在	平成21年9月30日現在
(資産の部)	(19,081,037)	(17,865,769)
流動資産	11,948,981	10,532,607
現金・預金	3,558,805	2,962,781
受取手形・売掛金	5,841,894	5,107,038
棚卸資産	2,157,304	2,142,334
その他	418,381	338,051
貸倒引当金	△ 27,405	△ 17,598
固定資産	7,132,055	7,333,161
有形固定資産	4,177,287	4,184,953
建物及び構築物	1,996,419	2,021,462
機械装置及び運搬具	1,195,627	1,232,622
その他	985,240	930,869
無形固定資産	56,281	67,767
投資等	2,898,486	3,080,440
投資有価証券	2,612,535	2,800,345
その他	355,313	345,570
貸倒引当金	△ 69,361	△ 65,474
合 計	19,081,037	17,865,769

科 目	平成22年9月30日現在	平成21年9月30日現在
(負債の部)	(10,320,297)	(9,546,521)
流動負債	8,396,086	8,260,011
支払手形・買掛金	4,087,081	3,668,050
短期借入金	2,995,160	2,939,960
1年以内償還予定社債	—	600,000
その他	1,313,845	1,052,000
固定負債	1,924,210	1,286,510
長期借入金	797,000	219,000
その他	1,127,210	1,067,510
(純資産の部)	(8,760,739)	(8,319,247)
株主資本	8,099,113	7,601,605
資本金	640,500	640,500
資本剰余金	289,846	289,846
利益剰余金	7,174,429	6,676,538
自己株式	△ 5,662	△ 5,279
評価・換算差額等	386,101	565,862
評価差額金	444,235	600,070
為替換算調整勘定	△ 58,133	△ 34,207
少数株主持分	275,524	151,779
合 計	19,081,037	17,865,769

### 総資産 (単位：百万円)



### 純資産 (単位：百万円) 自己資本比率 (単位：%)



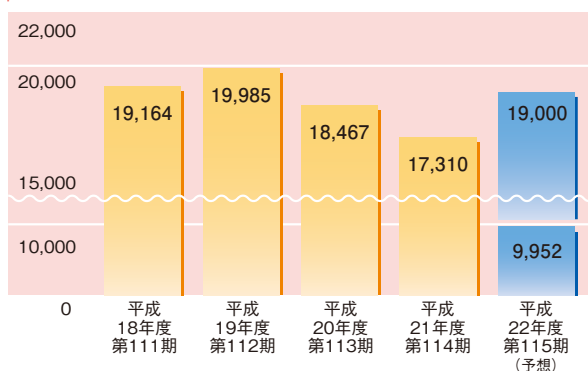
## 連結損益計算書 (単位：千円)

科 目	平成22年4月 1日から 平成22年9月30日まで	平成21年4月 1日から 平成21年9月30日まで
売 上 高	9,952,176	8,370,971
売 上 原 価	8,207,153	7,111,154
販売費・一般管理費	1,216,377	1,145,246
営業利益	528,646	114,571
営業外収益	82,096	46,098
営業外費用	33,910	34,534
経常利益	576,832	126,135
特別利益	84	9,646
特別損失	29,823	5,712
税金等調整前純利益	547,093	130,069
法人税・住民税・事業税	192,055	53,576
法人税等調整額	1,991	567
少数株主利益	10,093	△ 416
純 利 益	342,953	76,341

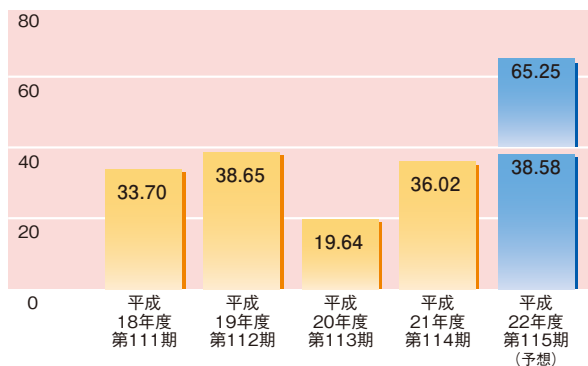
## 連結キャッシュフロー計算書の要旨 (単位：千円)

	平成22年4月 1日から 平成22年9月30日まで	平成21年4月 1日から 平成21年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	723,944	533,120
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 394,752	△ 225,619
財務活動によるキャッシュ・フロー	129,692	42,225
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 2,436	10,039
現金及び現金同等物の増減額	456,448	359,766
現金及び現金同等物の期首残高	2,608,547	2,603,015
現金及び現金同等物の期末残高	3,064,995	2,962,781

## 売上高 (単位：百万円)



## 1株当たり当期純利益 (単位：円)



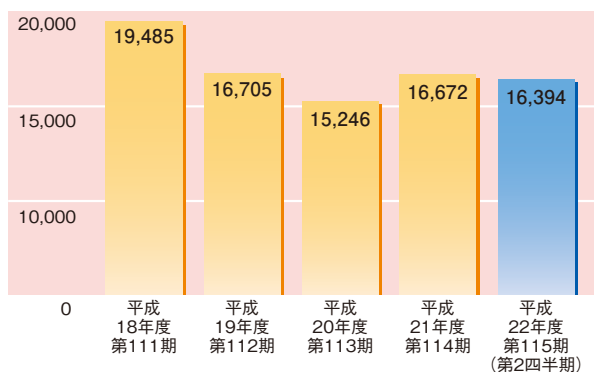
## 単独決算の概要

### 貸借対照表 (単位：千円)

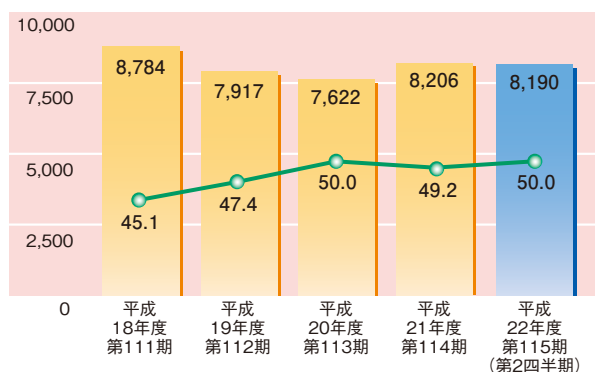
科 目	平成22年9月30日現在	平成21年9月30日現在
(資産の部)	(16,394,621)	(15,802,763)
流動資産	9,376,798	9,122,647
現金・預金	2,388,574	2,583,573
受取手形・売掛金	4,971,869	4,561,858
棚卸資産	1,617,388	1,659,139
その他	401,120	319,929
貸倒引当金	△ 2,154	△ 1,853
固定資産	7,017,823	6,680,116
有形固定資産	3,082,473	3,168,468
建物	1,554,131	1,590,640
機械装置	879,713	914,785
その他	648,628	663,042
無形固定資産	40,799	51,360
投資等	3,894,550	3,460,287
投資有価証券	2,556,864	2,736,006
その他	1,354,685	741,729
貸倒引当金	△ 17,000	△ 17,448
合 計	16,394,621	15,802,763

科 目	平成22年9月30日現在	平成21年9月30日現在
(負債の部)	(8,204,617)	(7,816,759)
流動負債	6,794,732	6,815,837
支払手形・買掛金	3,559,014	3,250,533
短期借入金	2,085,000	1,985,000
1年以内償還予定社債	—	600,000
その他	1,150,717	980,303
固定負債	1,409,885	1,000,922
長期借入金	600,000	—
退職給付引当金	29,680	32,666
役員退職慰労引当金	70,505	165,474
その他	709,699	802,781
(純資産の部)	(8,190,004)	(7,986,004)
株主資本	7,758,216	7,401,311
資本金	640,500	640,500
資本剰余金	289,846	289,846
資本準備金	289,846	289,846
利益剰余金	6,833,531	6,476,244
利益準備金	160,125	160,125
任意積立金	6,349,856	6,168,321
[配当平均積立金]	[355,940]	[355,940]
繰越利益剰余金	323,550	147,798
[中間純利益]	[235,925]	[78,751]
自己株式	△ 5,662	△ 5,279
評価・換算差額等	431,787	584,692
合 計	16,394,621	15,802,763

### 総資産 (単位：百万円)



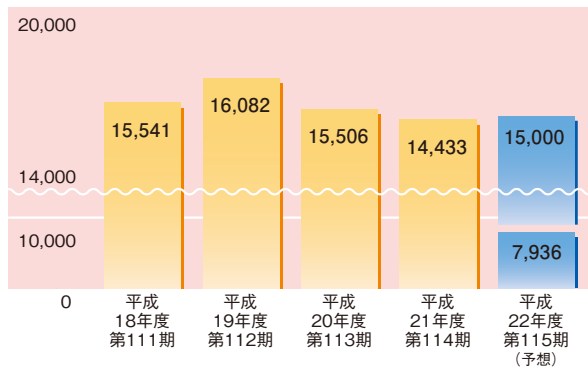
### 純資産 (単位：百万円) 自己資本比率 (単位：%)



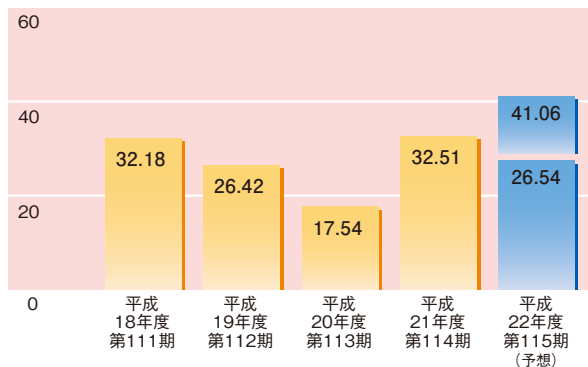
## 損益計算書 (単位：千円)

科 目	平成22年4月 1日から 平成22年9月30日まで	平成21年4月 1日から 平成21年9月30日まで
売 上 高	7,936,664	7,026,448
売 上 原 価	6,568,821	5,950,340
販売費・一般管理費	995,316	988,060
営 業 利 益	372,526	88,047
営業外収益	63,546	57,030
営業外費用	15,759	17,226
経 常 利 益	420,313	127,852
特別利益	—	7,919
特別損失	27,784	5,712
税 引 前 純 利 益	392,528	130,059
法人税・住民税・事業税	156,603	51,307
法人税等調整額	—	—
純 利 益	235,925	78,751

## 売上高 (単位：百万円)



## 1株当たり当期純利益 (単位：円)



## 1. 河野社長全国クラフト紙袋工業組合理事長に就任



平成22年5月19日に開催された、全国クラフト紙袋工業組合総会において、弊社代表取締役社長河野弘征が理事長に選任されました。

## 2. エスキューブ上市

当社は、液体輸送用1000L内袋（エスキューブ）を上市しました。

折りたたみ式コンテナの内部にエスキューブを取り付けることにより、液体を大容量で輸送することができ、既存の金属製容器等を使用する場合と比較して輸送コストが削減できます。また、コンテナ内部が汚れないので、洗浄の手間が省け、異物混入の恐れがありません。

輸送対象は調味料、加工乳、飲料原液、油脂類等多岐にわたります。

液体輸送用コンテナ内袋「エスタック」とともに拡販を目指します。



## 3. 昭和トレーサビリティシステム展開

平成21年10月に当社東京工場スタートした昭和トレーサビリティシステムを本年7月に亀山工場に導入しました。下期には防府工場・盛岡工場を導入を予定しており、本年度中には全社的なシステムの構築がほぼ完成します。

昭和トレーサビリティシステムとは、クラフト紙袋にバーコードを印刷すること（1袋毎に背番号を付ける）により、製品に事故が発生した場合に、その原因を最小の幅で特定でき、処理コストを最低限に抑えるためのシステム。（トレーサビリティ：製品の流通経路を生産段階から最終消費段階まで追跡することが可能な状態にあること。）

## ■設立

昭和10年12月20日

## ■資本金

6億4,050万円

## ■主要な事業内容

クラフト紙袋、樹脂袋、合成樹脂製品の製造販売および各種包装容器、包装材料、包装関係機械の製造販売

## ■役員（取締役および監査役）（平成22年9月30日現在）

代表取締役社長	河野弘征	営業本部長
常務取締役	上野安志	生産本部長
取締役	花山宜久	営業本部副本部長
取締役	土田隆夫	管理本部長
取締役	白方茂樹	タイ昭和ボックス(株) 代表取締役社長
取締役	大西亮	大阪支店長
取締役	平野正春	山陰製袋工業㈱・山陰パック㈱ 代表取締役社長
常勤監査役	佐藤隆	
監査役	藤岡貞章	(株)サンエー化研 取締役
監査役	佐々木英一	新生紙パルプ商事㈱ 常勤監査役

※藤岡貞章氏および佐々木英一氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

## ■事業所

●本社 〒162-0845

東京都新宿区市谷本村町2番12号

電話 03 (3269) 5111

●支店 大阪、西日本（山口）、中部（名古屋）、東北（仙台）

●工場 東京（埼玉）、防府（山口）、富山、亀山（三重）、盛岡（岩手）、掛川（静岡）

●子会社 九州紙工（鹿児島）、ネスコ（東京）、山陰製袋工業（島根）、山陰パック（島根）、昭友商事（東京）、タイ昭和ボックス（タイ王国）



## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
期末配当金支払 株主確定日	3月31日
中間配当金支払 株主確定日	9月30日
基準日	定時株主総会については、3月31日 その他定款に定めがある場合のほか、 必要があるときはあらかじめ公告する 一定の日
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先 電話お問い合わせ先	お取引の 証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 0120-288-324(フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取以外の株式売買は出来ません。

単元株式数 1,000株

公告掲載新聞 日本経済新聞